



研究主題：

*** 近代日本の文明批評と文化受容 ***
*** 地域学としての郷土文学論 ***



教授 **林 正子** Masako Hayashi

研究のキーワード

明治文学、大正文学、ドイツ思想・文化受容、文明批評、郷土文学、地域学、女性文学

所属：岐阜大学 地域科学部 地域文化学科
役職：教授・副学長（多様性人材活力推進担当）
E-mail：mhayashi@gifu-u.ac.jp
専門分野：日本近代文学・比較文学

著書



経歴

文学修士（岡山大学）
1980年 - 1987年 神戸大学大学院文化学研究科博士課程
（1984年 - 1986年 ミュンヘン大学 DAAD奨学生）
1987年 - 1989年 岐阜大学教養部 講師
1989年 - 1996年 岐阜大学教養部 助教授
（1994年 - 1995年 ハイデルベルク大学 客員教授）
1996年 - 岐阜大学地域科学部 教授
（2003年 - 2004年 ライツェ大学 客員教授）
2010年 - 岐阜大学副学長・男女共同参画推進室長

研究の概要

1. 近代日本の文明評論におけるドイツ思想・文化受容の意義
日清戦争後から大正期にかけてのドイツ思想・文化受容による、近代日本の時代精神創出についての考察
2. 文学の創造契機としての風土論、地域学としての郷土文学論
自然環境としての風土が、文化を創造してゆく原動力になっていることを明らかにし、岐阜ゆかりの文学作品論を通して地域学の意義を問う試み
3. 日本近代小説における〈自己探究〉の様相と作家の手法
明治期以降の小説作品を対象とした、作家にとつての〈小説を書く〉ことの意義とその実現のための技法についての考究
4. 日本近代女性作家による自己表現獲得の営為と成果
明治10年代から第二次世界大戦後までの女性作家による文学活動とその表現形態を文学史的に位置づける試み

代表論文・著書

- 三元社編集部（編）『竹村民郎著作集完結記念論集』三元社 2015年12月 「「テエベス百門の大都」の交響」
 - 鷗外研究会（編）『森鷗外と美術』双文社出版 2014年7月
「森鷗外ドイツ三部作のイコノロジー：「絵画小説」の方法による作家の〈自画像〉創出」
 - 清田文武（編）『森鷗外『舞姫』を読む』勉誠出版 2013年4月
「〈エクソフォニー小説〉としての『舞姫』——実体験の〈翻訳〉という創作」
 - 神田由美子・高橋龍夫（編）『渡航する作家たち』翰林書房 2012年4月
「森鷗外 日本の〈エートス〉を求めて ドイツ体験による精神の閲歴」
 - 鈴木貞美（編）『Japan To-day』研究——戦時期『文藝春秋』の海外発信』作品社 2011年3月
 - 和田博文（監修）『コレクション・モダン都市文化 第65巻 海港都市・神戸』ゆまに書房 2010年12月
 - 小見山 章（監修）『森の国の風土論』地域自然科学研究所 2010年3月
「文学の創造契機としての風土——人間の自己了解から地域の内発的発展へ」
 - 日本近代文学会（編）『〈東海〉を読む——近代空間と文学』風媒社 2009年6月
「〈地域学〉としての〈郷土文学〉論——森田草平『煤煙』と江夏美好『下々の女』の〈故郷〉」
- 他 多数。

共同研究希望分野

- * 日本近代・現代小説研究 * 日独文化比較研究 * 岐阜ゆかりの文学研究